大衆文化の成立

明治維新後、産業・科学技術・政治制度など公的性格の強い分野では、政府主導によって近代化(西洋化)が 進められたが、各種文化は基本的に伝統の色を強く残していた。しかし、大正時代になると、日本人全般(大 衆)の生活様式・行動様式はかなり大きく変化した。

○新中間層と大衆文化

●教育と新中間層

次の2点を背景に、高学歴者の増加や女性の社会進出が始まった。 ①1907年、小学校就学率が97%を超え、国民全体の識字率向上

②1918 年、高等学校令・⁽¹⁾ 制定

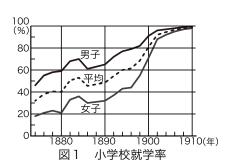
…高等学校の増設、単科大学や公・私立の大学設置の許可

・・・・(2) 内閣の時に制定

都市部に、事務系職員の俸給生活者((3))が現れた。

⇒彼らは、中級程度の生活水準をもち、新中間層とも呼ばれた。

タイピスト・電話交換手・バスの車掌などの仕事に就く女性も現れ、 と呼ばれた。



	年次	中学校	高等 女学校	師範 学校	専門 学校	高等 学校	大学
	1910年	302	193	80	77	8	3
I	1915年	321	366	92	88	8	4
	1925 年	368	514	94	101	17	16

図2 中等・高等教育機関の充実

◆大衆文化

国民全体の識字率向上や高学歴者の増加は、活字媒体の利用を促した。

⇒新聞・雑誌・ラジオ・映画などのマス=メディアが、

新中間層・職業婦人を受け取り手として急速に発達した。

これら一般勤労者(大衆)を担い手とする(5) 文化が成立した。

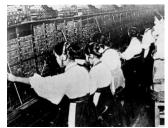


図3 女性の電話交換手

○マス=メディア

●新聞と雑誌

<新聞>

『東京日日新聞』などの新聞が、発行部数 100 万部を超えた。

』…記者⁽⁷⁾ が、小日本主義に立ち、 植民地放棄と平和的な経済発展を訴えた新聞

◇小日本主義…国家拡大の方針に対し、植民地放棄などを主張する立場

(100 万部突破 100 大阪毎日新聞 1920 1922 図4 新聞の普及







<雑誌>

』など様々な情報雑誌 :「日本一面白い!」と宣伝する『(12)_____』など娯楽雑誌 児童雑誌:1918 年、(13) が創刊した『(14) 週刊誌·女性雑誌:『(15) 』『(16) :『現代日本文学全集』など、1冊1円という安価で売られた本 図5 『キング』図6

●音声と映像

くラジオ放送>

1925 年、東京・名古屋・大阪の 3 放送局で (18) が始まった。 \Rightarrow 1926 年、 3 局を統合して、 (19) (NHK) が設立された。

ラジオ劇・スポーツの実況などが人気を博し、放送網が全国に広がった。



図7 女性アナウンサー

<映画>

当初の映画は、無声映像を解説者の語りとともに楽しむもので、⁽²⁰⁾______と呼ばれた。



大正時代、日活や松竹などの映画会社が国産映画の製作を始めた。 ◇1930 年代、有声映像の製作が始まり、⁽²¹⁾ と呼称



図8 家庭用映写機

●生活の変化

く建物>

都心:鉄筋コンクリート造のオフィスビル (丸の内ビルディングなど)

郊外:新中間層向けの和洋折衷の(22)_____

◇1924 年設立の同潤会は、関東大震災で被災した地区に、 木造住宅や鉄筋コンクリート造のアパートを建設



図9 丸の内ビルディング

く生活基盤>

都市:水道・ガスの供給事業の本格化

農村:以前は都市部に限られた電灯の普及



市電・バス・タクシーの発達、地下鉄の開業



図 10 モダンガール

<服装>

山高帽にステッキという姿のモダンボーイ (モボ)、

断髪にスカートという姿の⁽²³⁾_____(___(

く食事>

· ⁽²⁴⁾ ・ ⁽²⁵⁾ などの洋食





図 11 トンカツ

図 12 カレーライス

<販売店>

^[26]______の発達、私鉄経営のターミナルデパートの登場

世界初のターミナルデパート―阪急百貨店

1929 年、阪急電鉄社長の小林一三は、私鉄の発着駅にデパートを付属させた阪急百貨店を開業した。地下2階、地上8階という、当時では群を抜いた規模の百貨店で、大衆に向けての夢の集大成として世界初の試みであった。小林は、1913年に組織し発展させた宝塚少女歌劇団なども経営しており、大衆の夢をふくらませ、そして確かな実りへと導いた。

